

図書室の一部に只木文庫が完成しました。



長野県林業大学校では、10月26日（水）に只木文庫の除幕式を行いました。

この只木文庫は、森林生態学で有名な只木良也先生から、自らご執筆された本や愛読書をご寄贈いただくと同時に、図書室の一部を改修して、それらを納める書棚も整備してもらったものです。お蔭様で、この林業大学校には身に余る立派な図書空間ができ上がりました。

只木先生は、昭和54年の開校以来、ずっと本校の講師を務めていただくなど、正に本校のシンボルとなっております。また、先生のお書きになった本は数多く、枚挙に暇がありませんが、例えば、NHK ブックスの『森と人間の文化史』の中の『マツの盛衰記』の章は、平成5年度の高等学校の国語教科書にも掲載されるほど優れたものです。

日頃から、この只木文庫の図書に慣れ親しむことにより、この林業大学校から、将来の日本や長野県の森林・林業を担う人材が育ってくれることを願っています。



学生から花束と記念品を受け取る只木ご夫妻



著書を紹介し、学生と談笑する只木先生